

# 経済・金融 フラッシュ

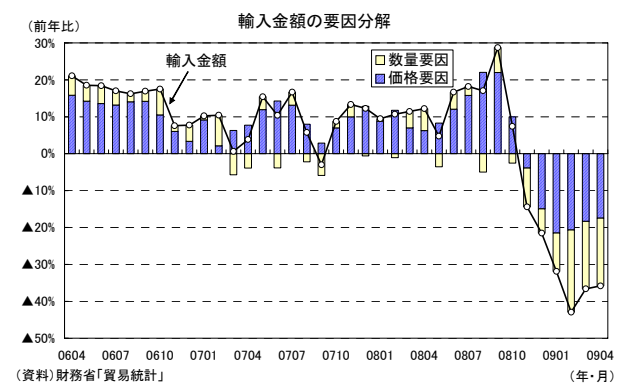
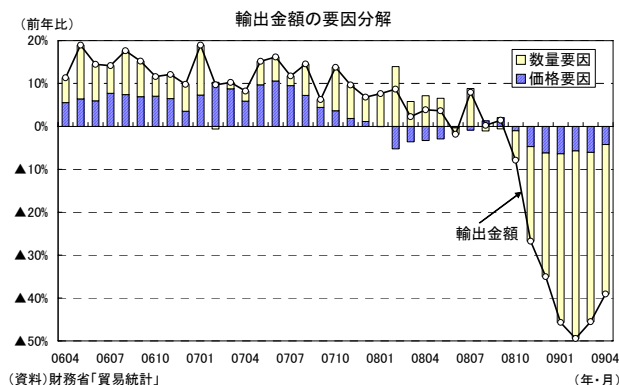
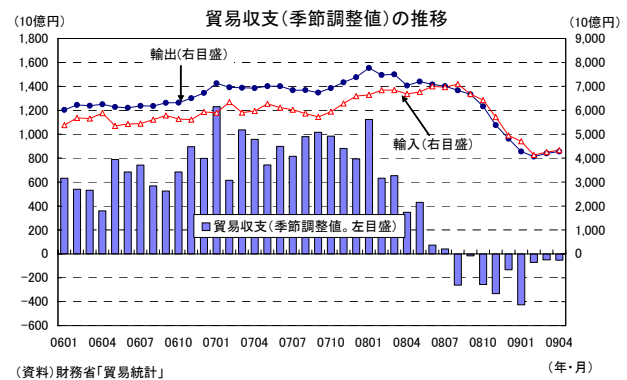
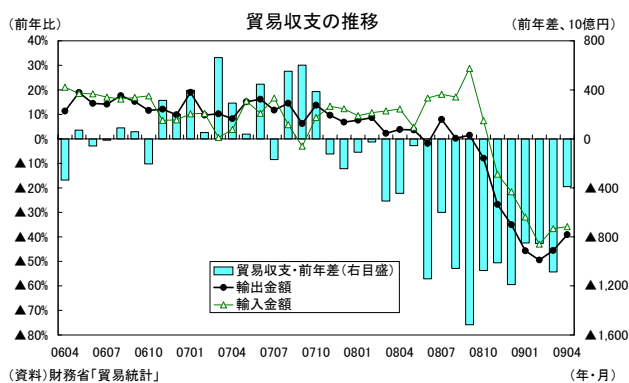
## 貿易統計 09年4月 ～輸出は下げ止まりから持ち直しへ

経済調査部門 主任研究員 斎藤 太郎

TEL:03-3512-1836 E-mail: tsaito@nli-research.co.jp

### 1. 輸出の減少幅が2ヵ月連続で縮小

財務省が5月27日に公表した貿易統計によると、4月の貿易収支は690億円の黒字となり、事前の市場予想（ロイター集計：▲532億円、当社予想は▲1,337億円）を上回った。輸出入ともに引き続き大幅な減少となったが、輸出の減少幅が前月の前年比▲45.5%から同▲39.1%へと大きく縮小したため、原数値では3ヵ月連続の黒字となった。季節調整済の貿易収支は▲521億円と9ヵ月連続の赤字となったが、09年初め頃までの水準と比較すると赤字幅は小さくなっている。



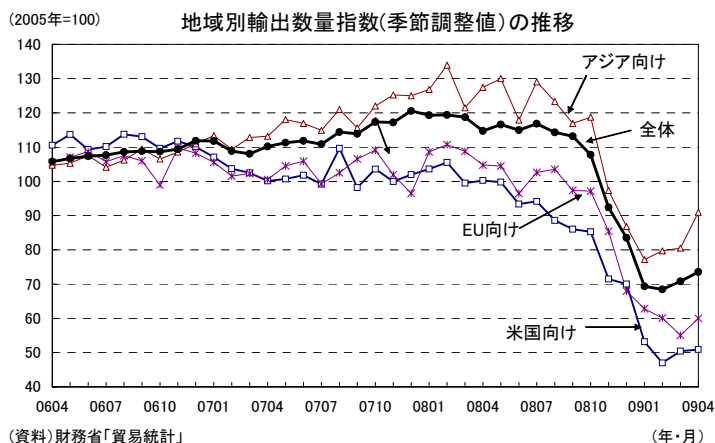
輸出の内訳を数量、価格に分けてみると、輸出数量が前年比▲35.8%（3月：同▲41.1%）、輸出価格が前年比▲5.1%（3月：同▲7.6%）であった。

輸入は、前年比▲35.8%（3月：同▲36.6%）となった。輸入数量が前年比▲20.3%（3月：前

年比▲20.4%)、輸入価格が前年比▲19.5% (3月:同▲20.4%)であった。

輸出数量指数は前年比で見れば依然として大幅なマイナスだが、季節調整値(当研究所による試算値)では、3月に前月比3.4%と8ヵ月ぶりにプラスに転じた後、4月は同3.9%と上昇ペースが加速した。4月の輸出数量指数の水準(季節調整値)は1-3月期よりも5.8%高い水準となった。

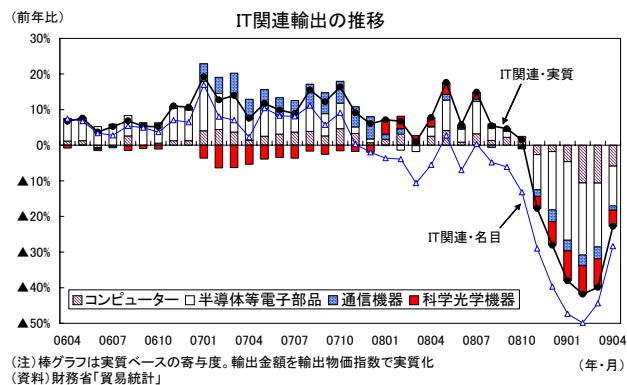
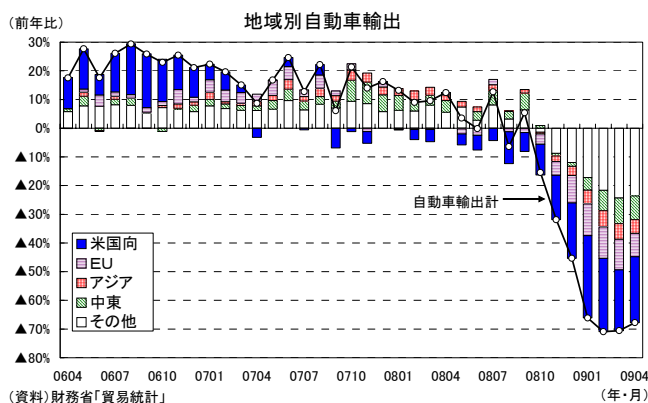
地域別には、米国向けは前年比▲49.4% (3月:同▲49.5%)と大幅な落ち込みが続いたが、EU向けが前年比▲42.8% (3月:同▲49.6%)、アジア向けが前年比▲28.7% (3月:同▲33.8%)と減少幅が縮小した。季節調整値では、米国向けが前月比1.0%、EU向けが同9.0%、アジア向けが同13.1%となり、アジア向けの回復がより鮮明となっている。米国向けは依然として低迷しているものの、中国を中心としたアジア向け輸出の回復を主因として、輸出は下げ止まりから持ち直しに向かっている。



1-3月期のGDP統計では、輸出が前期比▲26.0%の大幅減少、外需寄与度が前期比▲1.4%となったが、4-6月期は輸出が3四半期ぶりに増加に転じる一方、内需低迷に伴う輸入の減少が続くことが見込まれるため、外需寄与度は4四半期ぶりにプラスに転じる可能性が高い。

## 2. IT関連輸出の持ち直しが鮮明に

輸出の内訳を見ると、自動車は前年比▲67.8% (3月:同▲70.6%)と引き続き大幅な減少となったが、IT関連品目(コンピューター、コンピューター・部分品、半導体電子部品、通信機、科学光学機器の合計)は実質・前年比▲22.8%となり、3月の同▲39.9%から減少幅が大きく縮小した。積み上がりが続いていた国内の電子部品・デバイスの在庫は3月には3年3ヵ月ぶりに減少に転じ、出荷・在庫バランスも改善に向かっている。IT関連輸出の持ち直しは在庫調整のさらなる進展を後押しする要因となるだろう。



(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。